五十嵐小学校区 コミ協だより

砂丘

第９号

発　行　五十嵐小学校区コミュニティ協議会
発行人　小林　勇
編　集　事務局
新潟市西区上新栄町 4-5-68
Tel. 025-260-6600
e-mail : ikarashi-komikyou-ji@onyx.ocn.ne.jp

心にやさしい光を灯そう

愛絆夢

「地域の茶の間」
交流の集い

「絆を深める」

五十嵐小学校区コミュニティ協議会

福祉部会長　武田　洋一

小池深香さんの爽やかな歌声と三流亭楽々さんの落語でシワがたくさん増えてしまった位、大笑いした。２時間、楽しいひとときを１００人以上の方々と過ごすことが出来ました。昨年は、３月11日以来、大変な年でしたが「絆を深める」活動として来年度もまた、このような機会を計画したいと思います。

歳末助け合い事業

「音楽と落語のつどい」

～心にやさしい光を灯そう～

平成23年12月18日(日)に五十嵐コミュニティハウスで
(第１部)高校生シンガーの小池 深香さんの(ミニライブ)
(第２部)三流亭楽々さんによる(落語)が開催されました。

参加者の声

- とても楽しい集いでした。これからもこのような催しよろしくお願いします。
- 楽しい音楽、よく笑い良い時間でした。
- 歌でウルっときて、落語は大声で笑えて大変良かった。
- 日ごろ笑うことが少ないので、久しぶりに心から笑えました。

深香さんのかわいい歌声と笑顔がステキでした

小池さんは礼儀正しく大変良かったです。新潟からデビューできるといいですね。活躍楽しみにしています。

若さって素晴らしい！ 自分にも若い時があったことを想い出しエネルギーをもらいました。

15歳の演奏だとは！ 深香さんの作詞には、親への愛、周りの人たちへの感謝を忘れないことが表現されていてとても素晴らしかったです。感激！感動!! ウルウルしました。

楽々さん、笑い過ぎてしわがだいぶ増えました。おもしろかった。

三流亭楽々さん、三流？ どんでもない！ 一流でした。

楽々さんの落語をはじめて伺い、実に感心しました。

自治会の紹介　**寺尾北自治会**

住みたい街にする

寺尾北自治会長　寺山 和雄

私どもの自治会は寺尾中央公園西側に沿って約450m幅200mの斜面を主体とした住宅地で約200戸が住んでおります。商店はなくアパートも小規模な2棟を除いて住宅だけの町です。皆さんと同じく新潟地震の後、昭和40年後半に市内より移り住んだ人たちが大半です。砂丘地の斜面でもあり、結果として殆ど都市計画の恩恵を得ておりません。狭いし急勾配あり、行き止まりありになっています。

それでも幸いな事に、ここ10年に30世帯近い家族が新たに住みかを設けてくれております。小学生も30名近くおりますので明るい声が聞こえております。

そんな事もあり自治体のモットーは**「住みたい街にする」**です。向こう三軒両隣を基本に班活動といっても顔見知りになり、気軽に声を掛けあえるを目指しております。

貧乏自治会故に出来る事は自分達での気持ちでボランティア活動は盛んです。

閑話休題

子供たちの夢に応えた大人たち

清心町自治会　片桐 和子

孫は今年、小学校を卒業する。電車やバス代半額の恩典も三月で終わりなので、私は卒業旅行という美名のもとに孫を旅に誘った。貧乏な祖父母の懐を考えてか、孫は「上野動物園に行きたい」と言う。「えっ、もうちょっと遠くでもいいよ」なんて言いながら、「それじゃあ、はとバスでスカイツリーを見て、浅草の観音様に頭のよくなるお願いをしよう」ということに。かくして、一石二鳥どころか、三鳥も四鳥も狙っての旅は始まった。

私は象に会いたかった。昭和二四年、インドから一頭の象が届いた。上野動物園にいた象たちは、戦時中、空襲で逃げ出しては危険ということで食べ物を絶たれて餓死させられた。象のいない動物園。「本物の象を妹に見せたい」という少年の投書が新聞に掲載され、象を動物園によぼうと子どもたちは立ちあがった。その願いは戦後の貧困の極みに喘ぐ日本には到底無理な話と誰もが思った。しかし、そのことは、インド商社マンによってインドにも伝えられ、一五〇〇通もの日本の子どもたちの嘆願書を手にした当時の首相ネルーは、象を贈ることを即決した。「インドもイギリスから独立したばかりで貧しいが、この象インディラは、インドの子どもたちの愛情と友好の使者です」と、日本の子どもたちの切ない願いを聞き入れたという。はるばる船に乗って来たインディラは、日本の子どもたちに熱狂的に迎えられ、長い間愛され続けて、四九歳の生涯を、遠い異国の地で終えた。

子どもたちの純粋な願いに、他国の人が博愛の心で応えてくれたのである。大人はいつの時代でも、子どもの夢の実現に向け、精一杯の愛情で環境を整えてやらなければと思う。

孫は、浅草で線香の煙を頭にいっぱい振りかけ、何やら真剣に願いをかけていた。

編集後記

連日の雪と除雪に悩まされる日々が続きましたが、ようやく春の兆しが見え始めて来ました。蝋梅が咲き春蘭の花芽も大分ふくらんで来ました。多くの会員の皆様のご協力により今年度最後の広報誌を発行することが出来ました。心より感謝申し上げます。また来年度も良き年になりますよう祈りつつ筆を下ろさせて頂きます。ありがとうございました。

（事務局　阿部）